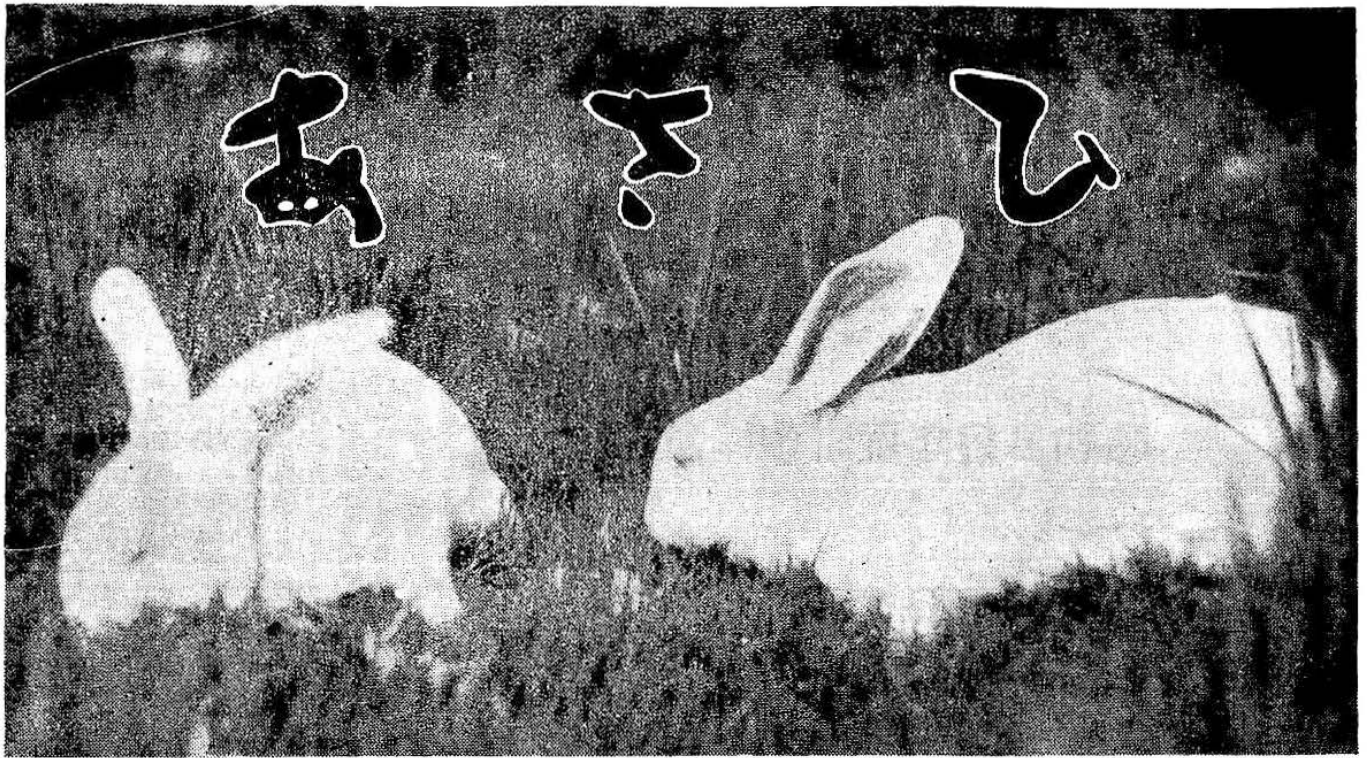


△ 勅題「草原」 △



昭和三十八年の新春を迎えて

朝日町長 本村 本松

年明けて昭和三十八年の新春を迎えましてお目出度う御座います。

戦后十八年何かと生長し続けて参りました日本の現状を見る時、物資も豊かに、文化水準も高まり、平和な秩序の維持に、そして福祉国家として発展して今日にいたった事はまことに慶賀にたえません。

この機会に昭和三十八年における町政一般について述べて見ますれば、再建団体としても仕上げの年でありますので財政的な面で緊縮離伏の年と見ねばならんと思います。

しかしこれは昭和三十九年以降における飛躍に備えての離伏であり、飛躍のための縮身にはなりません。従って事業的な面でも消極的にならざるを得んと考えます。

それでも統合中学校の継続事業に腐朽校舎の建設は当然実施を見ねばなりません。合併以来の懸案である庁舎の建設も計画樹立の年と考えております。

但し国道八号線の着工、海岸護岸の設定完備、境川、笹川、小川の砂防工事等は国費によって事業の実施に当たっていただくことになり、更に西草野、桜町道路、南保、笹川、山崎等の県道改修に当たっても県単等の事業として実施して欲しいと思っております。

土地改良事業にしましては南保上井用水路改修に下山沈砂地、桜町区画整理等朝日町農業基盤樹立の上にも大きな示唆を与える事業遂行の年となるのであります。

国民年金に対する加入成績が非常に優秀にしかも短期間中にその収納率も破格な域に達したことは町民各位の深い理観と町内役員諸氏の熱意ある御協力の賜と感謝してまいりましたので、新年度においてもこの様な角度から見ましても町民各位の町政に対する協力と生活水準が漸次昂揚し教養度が高まりつつある観点から私達もますます信頼感を深めるためにあらゆる事業の遂行に当たるに際しても期待を裏切ら

ない様に努力したいと念願しています。
なお三十八年度においては町民の負担を少しでも軽減したいとの考慮から一部減税を断行したいと考えています。

御存じの様に県内では、大山、大沢野、宇奈月、細入に次ぐ最低の税率を課しているのではありませんが、事業の停滞を見ない程度の範囲において実施する方針であります。

都市計画街路も何とか地元皆さんの御協力を得て推進してまいりましたが更に次年度計画路線の実施に、町道整備等に一段の御協力をお願いいたします。

塵芥処理場も二年継続事業として本年内には完成を見るわけでありまして、し尿処理場も二市三町の組合で本年内に利用出来るまでになることで環境衛生の面でも一安心出来ることと思います。

病院や診療所の施設も十分町民各位に利用されてまいりましたことは非常に心嬉しく感じています。
三十七年度中の仕事として役場の窓口事務の一元化は町民の皆さんにも喜ばれているので喜んでいますが更に工夫研究をしまして、利用者の便利を図りたいと考えています。

最後に最近の観光ブームは観光の町として観光が町発展に一役を買って大きな役目を果たしていると考えられますのでこれに対しては強力な組織を持ちたいものだと考えられますし、もっと抜本的施策をと考えています。

要するに本年は一応再建団体としての仕上げであり、事業そのもののより財政面での締めくくりをせねばならない年であり、これが又企画を密にして発展飛躍するための一段階の年としたいと思っておりますので、旧来になされた町に対する理解を一層深められこの上にも強い協力と誠意ある鞭撻をお願いいたします。



輝かしい 新年を迎えて

朝日町議会議長

小坂満

明けましておめでとうございませう。

はればれとして、ものみなすてが希望にみちた光をはなっているように思われます。門ごとに、はためく国旗は、平和の風になびき、新年にふさわしい、まことになごやかながめで、おめでたいきわみと存じます。

中の町営住宅も近く完成することになりました。

待望の新庁舎の建設についても着々と設計が進められておりますが、中央公民館の建設、下水問題、農業改善問題その他もろもろのなさねばならぬ事業が山積していることを思うとき、どれ一つとして勇気と努力

を要しないものではありません。

数年来継続して審議されております行政区画の問題にしても、宇奈月町との関係もありますが解決すべき年ではないだろうかと思存します。

町発展の一要素である工場誘致にしても、また電源開発にしても町財政をうるはす重要な財源確保のために大いに努力しなければならぬと存じております。

ここに、昭和三十八年の新春をむかえるに当りまして、国家の隆昌をいのり、あわせて、みなさんとともに、新たに沐し、新たに浴するの心をもつて、この年をおくりたいと存じますので一層のご協力をお願いいたします。



△優生保護法に基づく家族計画衛生教育

一月、三月各地区にて

△成人病対策 個人指導と血圧測定日時及場所

一月十七日、十八日

午後一、三〇〇三、三〇

泊公民館

一月二十二日

午後一、〇〇三、三〇

東草野公民館

対象者 満四五才以上

△海技技術者講習会

だきたい。

①都市計画については全町民の与論をくり返しおき願いたい。

②人づくりこそは人間生活の源これを優先的に。

③学校、家庭、社会の三者一体化の形で、そのためにその連絡指導員制を特設していただきたい。

④治療より予防、栄養指導、食事指導のためにすぐれた栄養指導員を。

◎泊三区々々長 大西方郎

①土地改良事業の推進。

②サービスの徹底。

③観光道路の整備拡充。

④計画性のある道路網の整備拡充

⑤東西並びに南北に走る路線の完成。

⑥学校並びに教育の整備充実。

⑦中央公民館建設と社会教育活動の活発化。

期日 一月十一日～三月九日

場所 入善町入善小学校

共催 富山県、朝日町、入善町

△婦人の生活発表大会

題目「明るい政治をねがって」

朝日町予選会

二月二日 午後一、〇〇

泊小学校講堂

下新川郡予選会

二月十日 午後一、〇〇

泊小学校講堂

おわび

十二月号「あさひ」の成人者名簿に左記の方々を本誌に追加、訂正して深くお詫びいたします。

◆追加

泊地区

館 光子

氷見照代

氷見俊子

小塚久子

竹中登志子

川上早苗

林 薫

松下靖夫

宮崎地区

北島洋子

扇谷武久

谷口敦子

五箇庄地区

狩谷文子

南保地区

山口伸子

山崎地区

渡辺ヤイ子

名古屋昌司

山崎地区

名古屋昌司

七沢 都

◆訂正

堀口征司→堀一(大家庄)右井宜

二→重二(野中)追分秀一→寿一

(草野)

昭和38年度町政に望む

①産業

(イ)農林漁業(ロ)商工業

(イ)観光

②土木

(イ)道路行政(ロ)都市計画

③教育

(イ)学校教育(ロ)社会教育(社会体育)

④民生

(イ)保健と衛生(ロ)住民福祉

⑤福祉

右の諸点について区長諸氏にご意見を求めました。回答のあった分だけ掲載いたします。

◎笹川地区区長

竹内庚之助

①農道、林道の整備

(イ)七重滝周辺の開発(小川温泉、三峰スキー場より)と城山登山路の舗装

②全町道の舗装並に笹川元屋敷町道を拡張し、境市振バス路線を小川温泉から笹川経由に

③計画路線早期完成。

(イ)小学校の統合は時期の問題であるから年度計画をたてること。

(ロ)中央公民館を建設し、健全な娯楽設備を設ける。

(イ)特に蠅の全町駆除。

(ロ)室内外の児童遊園施設の設置。

◎五箇庄地区々々長 西田 豊次

①農業構造計画を全農民に早く周知徹底させること。

赤川海岸の護岸の完璧を期すること。

出漁者の会合を数多くもつこと。

②商工振興の方策を積極的に講じられたい(家内工業の振興、農工一体化)。

③各地区にある「かくれた伝説、名」等を出して、名所集、伝説集を作成していただきたい。

④その地区の発展は道路が基本、自動車学校の創設は誠に町のために喜ぶべきである。ここ十年間に各戸に自動車が増えられ、予想で道路の計画をなしていた

ここに、新春第一日をむかえまして、みなさまのご感想は、いかがでしょうか。新たな年をむかえる心は、新たに沐し、新たに浴したときの心なり、と申しますが、この心を、この一年間、うしなわなければ、人は、まず、みごとに精製された逸品ともいえるべく、ために、この社会もまたよりよき実を結び、ますます、発展して住みよいものとなるでしょう。

元旦を迎えて、何となく新しい希望に満ちた年が来たように思われるのであります。

ご承知の如く、朝日町も誕生してから数えて十年になりました。いわば幼児期を脱して少年期に入ったといえるのであります。それだけに為すべき事業も多く、立派な町制の確立に進まなければなりません。

懸案の統合中学校も本年を以て第三年度の完成をみて一応は全生徒の収容は出来るものと確信しております。

待望の上舟川橋も客年十二月完成をみ、住宅になやむ人のために建設

朝 監 第 3 5 号

監 査 結 果 の 公 表 に つ い て

昭和37年12月4日

朝日町監査委員 坂口良造 松原三郎

教育委員会

地方自治法第199条第3項の規定に基づき、朝日町教育委員会の監査を行ったので、その結果を同法同条第8項の規定により次のとおり公表する。

監 査 結 果

1. 監査月日

昭和37年11月12日から11月20日までの間において。

2. 事務の分掌

当委員会の事務分掌は委員会事務は勿論、学校教育、社会教育、社会体育、青年学級、図書館、青少年問題協議会等の事務その外統合泊中学校建設事務、学校給食の栄養指導であり、これらを教育長以下8人の職員で事務を分掌している。

3. 事務処理に関する意見

当委員会における事務処理は、概ね良好と認める。特に学校教育、統合泊中学校建設等については、補助金の交付申請、事業報告の諸事務は多いのと学校数、中学校2校に教場2カ所、小学校8校に分校2校を擁している関係、事務処理に苦勞が多いと思われるが、各学校に対する事務処理の統一に一層の努力を願いたい。特に学校備品台帳には消耗品的なものも記載されており、これらを整理し廃棄処分についても現品と照合の上整理されたい。

4. 予算の執行状況

予算の執行状況については次のとおりで、概ね所期の目的は達せられている。

昭和37年度教育費予算執行状況 (S 37.10.31 現在)

款 項	予 算 額	執 行 額	未 執 行 額	摘 要
5) 教 育 費	66,869,550	29,831,342	37,038,208	総予算額に対する配分率 18.3% 執行率 46%
1. 教 育 費	2,724,300	1,489,846	1,234,454	教育予算の配分率 4.1%
2. 小 学 校 費	11,934,000	5,647,651	6,286,349	" 17.8%
3. 中 学 校 費	49,246,400	21,492,374	27,754,026	" 73.6%
(中学校費の内統合中学校新築費)	(42,119,200)	18,449,825	23,669,375	" 62.0%
4. 中 学 校 費	140,000	136,020	3,980	" 0.2%
5. 社 会 教 育 費	1,309,250	402,580	906,670	" 2.0%
6. 社 会 体 育 費	275,300	146,453	128,847	" 0.4%
7. 青 年 学 級 費	464,800	19,100	445,700	" 0.7%
8. 図 書 館 費	737,500	493,403	244,097	" 1.1%
9. 青 少 年 問 題 協 議 会 費	38,000	3,915	34,085	" 0.1%

注 中学校費の内、統合中学校新築費は教育予算 62% を占めているので、経常的なものは11.6%の率である。それと統合中学校費に対する執行率の悪いのは、38年度計画事業を1部繰上げ施行することにより、入札期が遅れたのは原因となっている。

5. 事業の執行状況

おもな事業の執行状況は次のとおりである。

① 学校関係

(イ) 泊小学校校舎修理工事

工事請負額 1,700,000円 請負業者 増山工務店

契約月日 昭和37年3月26日

完成月日 同 年8月10日

追加工事 (雨樋) 請負費 66,320円

完成月日 昭和37年9月30日

(ロ) 統合泊中学校自転車置場及び湯沸し設備工事

工事請負額 510,000円 資材費 100,000円

工事請負者 黒東土建工業KK

契約月日 昭和37年6月18日

完成月日 同 年8月10日

(イ) 泊小学校講堂補強並びにステージ設置工事

工事請負額 470,000円 請負業者 泊木工所

契約月日 昭和37年6月19日

完成月日 同 年8月10日

追加工事請負額 83,590円 請負業者 泊木工所

契約月日 昭和37年9月11日

完成月日 同 年9月22日

(ニ) 小、中学校学力調査

昭和37年7月11日に実施

(ホ) 理科教育設備 (国庫補助事業)

事業費 301,000円で 内150,000円は国庫補助

10月31日現在において殆んど設備完了しているが一部特殊器具の導入は遅れている。

対照校は宮崎小学校に大平、蛭谷両分校

(ヘ) 中学校産業教育設備 (国庫補助事業)

事業費 300,000円で 内150,000円は国庫補助、補助申請事務のみ完了

(ロ) 統合泊中学校新築事業

昭和37年度新築認定申請坪数663坪に対し、7月14日500坪の認事があり、7月24日入札を行う、新築坪数は認承坪数500坪と昭和38年度分163坪繰上げ施行することとし、同時入札とする。

落札者 黒東土建工業KK

昭和37年度認承分 500坪 請負額36,500,000円

昭和38年度繰上げ分 163坪 請負額11,860,000円

契約月日 昭和37年7月25日

完成期日 (昭和37年度分) 昭和38年3月31日

" (昭和38年度分) 同 年5月31日

昭和37年10月31日現在の出来高金額は、15,613,326円で支払額14,000,000円である。
12月末日までの出来高見込みは65%でその目的は達せられると認む。

② 社会教育関係

昭和37年度社会教育重点目標として

健康な社会環境をつくる。

社会教育の整備

ということで公民館、青年団、婦人会を通じて指導育成に努めている。青年学級実施率10月31日現在で40% このほかに公民館活動として教育キャンプ事業6月2,3,4,の3日間にわたり実施その指導に当り効果をあげている。11月10日児童会研究大会の開催等、社会教育活動に努力の程が伺える。

③ 社会体育関係

社会体育については、体育協会の協力を得て町民の体育向上に努めている。

④ 図書館関係

図書館には2名の職員を配置、図書館事務及び体育協会の事務を担当

図書館・利用者数 10月31日現在

男 5,943人 女 9,880人

分館への貸出し (3カ所)

山崎 190冊 大家庄 190冊 笹川 190冊

図書購入

図 書 342冊

雑 誌 151冊 143,650円

6. 総合的意見

総合的意見としていろいろ返したいが、特に学校関係についてのみ申し述べる。各小、中学校を視察したところ、絶体的維持修繕費の不足が認められる。各学校とも排水施設は充分と言えぬが、特に宮崎、笹川、南保、3小学校の排水施設が悪かった。各校とも校舎、講堂外側の塗装が落ているから、建物の保全上考慮されたい。特に南保小講堂屋根の塗装は急を要する。それと雨樋の損傷は各校共通の悩みで、この修理に当っては、一括見積入札の方法を構ぜられたい。(以下削略)

三十八年度保育所 入所申込取扱要領

- 一、保育所入所資格について
保育所は日々保護者の委託を受け、保育に欠ける児童を保育することを目指す児童福祉施設です。
保育所へ入所できる児童は、朝日町に住所を有する者でその家庭が次のいづれかの事情にある場合です。但しその家庭の母親以外の人が児童の保育ができる場合は除かれます。
①(家庭外労働) 児童の母親が家庭の外で仕事をすることが普通なのでその児童の保育ができない場合。
②(家庭内労働) 児童の母親が家庭で日常の家事以外の仕事をするに十分な普通な場合、その児童の保育ができない場合。
③(母親のいない家庭) 母親の死亡、行方不明等の理由により、母親のいない家庭の場合。
④(母親の出産等) 母親が出産の前、後であつたり、病気であつたり、心身に障害があつたりするので、その児童の保育ができない場合。
⑤(病人の看護等) その児童の家庭に長期にわたる病人や、心身に障害のある人があつたため、母親がいつもその看護にあつておられ、その児童の保育ができない場合。
二、保育所の定員について
各保育所の定員は次のとおりです。
泊第一(一三〇) 泊第二(六〇) 赤川(四五) 桜町(六〇) 笹川(六〇) 大家庄(八〇) 小川(五〇) 境(六〇) 南保(新設六〇)。
三、保育所の入所申請について
定められた申請書に、所定の事項を記載して朝日町長に提出する。
申請用紙は各保育所に備えつけ、母の会と連絡をとることにしたい。
申請書提出期日は二月一日から十日までとする。

朝日町人口及び世帯数

(昭和37年10月1日現在)

地区名	世帯数	人口	人口	
			男	女
朝日町	4,645	21,961	10,270	11,691
日家	535	2,692	1,322	1,370
大山	596	2,938	1,354	1,584
南五	457	2,226	1,057	1,169
宮野	477	2,241	1,071	1,170
境中	1,721	7,649	3,454	4,195
崎	439	2,067	989	1,078
保	320	1,614	765	849
庄	100	534	258	276

祝成人式

日時 一月十五日午前十時
場所 泊小学校講堂
第十五回朝日町成人者数
男 二一〇名
女 二四九名
計 四五九名

ちよっと一ぱいがケガのもと

飲酒運転はやめましょう

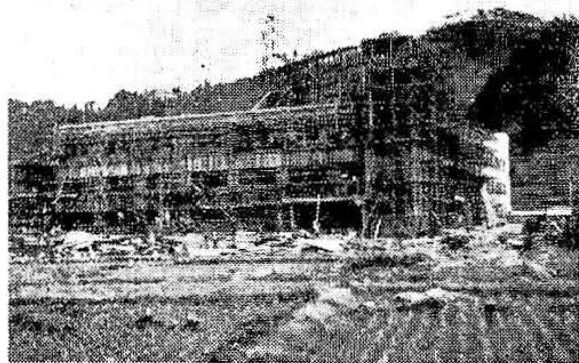
毎年年末年始となると酒による事故が増加するので富山県では昨年十二月十五日から本年一月十四日までの一ヶ月間を「飲酒運動防止県民運動月間」として事故ゼロを目標に県民総ぐるみ運動を展開しております。
入暴警察署でもこれに呼応して昨年十二月一日から本年一月三十一日までの二ヶ月間を「飲酒運動追放月間」として強力な取締を展開しており、運転者講習会や部落別交通安全教室も実施しております。
昨年の県下の飲酒運転による事故は三三〇件(死者一〇人、負傷者二七六人)で、一昨年の約二倍の発生を見ています。入善町管内でも昨年は一七件(死者二人、負傷者一八人)発生し、これは管内発生事故の一七%にあたりますが、このほかに事故をおこさないまでも酔払い運転をしていてたつとで処罰された人は二三人になっていきます。一月は酒による事故が発生しやすい月です。事故、違反をなくして年始を楽しくす。

二、料飲店の皆さんへ
料飲店など酒類を販売される業者の皆さん、自動車、オートバイを運転しておいでの方には酒を出さないでください。自分の店で飲んでも帰られたお客さんが三〇分後に事故を起こしてあの世にいったと。

保険証をもつてお医者へ

近頃皆さんの中で国民健康保険の保険証をもたずにお医者へ行かれる患者が多くなり、病院又はその他の医療機関に大変迷惑をかけておりますので今後は必ず保険証をもつてお医者へ行かれるようお願いいたします。又会社、事業所に勤務された方では他の社会保険に加入になった場合は早く役場へ保険証をもつて届けてください。

朝日町役場
朝日町医師会



図書館から

図書はできるだけ早くかへして下さい
原則として一週間以上の貸出しは認めません

予定どおり進行の 統合泊中学校建築工事

昨年七月から着工している統合泊中学校建築工事は予定どおり(昭和三十七年度事業五〇〇坪の完成は今年三月、昭和三十八年度繰上工事一六三坪の完成は今年五月)に進行しています。
(写真は工事中の統合泊中学校)

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 高田印刷
送料 六円
定価 六円